

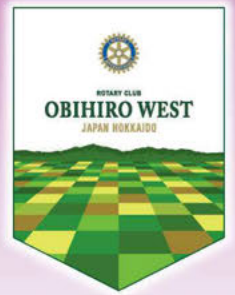


帯広西ロータリークラブ

第2423回例会

会報

2023.3.9



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

会長報告

奥 敏則 会長

皆さんこんにちは。会長報告をいたします。

まず、トルコシリア大地震の義援金件ですが、先週国際奉仕委員会によって集めていただいた募金額は、約87,200円でした。約というのは、米山奨学生のイスラエさんより、ドルでいただきました関係で、レートによる端数が出るためによるものです。集めた募金は、以前お話をさせていただいたように、ガバナー事務所に送りまして、地区補助金のDDF地区財団活動資金と合わせて、現地へ送られるということでございます。皆様のご協力に感謝いたします。また、日本でも、あと2日で東日本大震災から丸12年がたとうとしております。いろいろなところに相も変わらず爪痕は残したままになっています。知り合いのお嬢さんも、まだ行方不明のままです。トルコやシリアに関わらず、日本でもまたいつ大きな地震が来るかわかりません。我々ができることは、いつどんな時に震災が起こっても大丈夫なように、準備をしておくことだけです。特にこの近くでは、足寄～広尾へ向かって十勝平野断層帯や、太平洋沖には巨大なプレートがあります。そう遠くない先に必ず大地震はやってきます。心しておきましょう。

さて今日は、今年度になってから家族会を除き、初めての移動例会です。図書館での例会開催ということですが、この帯広市の図書館に来たことがあるという方は、どのくらいいらっしゃるのでしょうか？わたしも、そんなに多くはないですが、ちょっと集中力を高めて勉強したい時などは、わざわざ図書館の学習室で勉強したりしています。

自分の図書館とのかかわりは、今の前の前の図書館、西5条南9丁目に図書館があったころからになります。今の道新ビルの西側の現在駐車場になって

いるあたりに図書館があったのですが、幼稚園に通っていたころから利用させていただいております。ただ自分は、自分で本を買って、読み、読んだ本を所蔵しておくという主義なものですから、あまり図書館から本を借りて読んだという記憶はなく、捨てたり資源ごみに出したり古本屋へ売ったりとかできない性格なので、家には現在3000冊ほどの蔵書があります。受験の時の参考書まで、取ってあります。自分が亡くなった時は、そんなにいい本はないかもしれませんが、是非図書館にでも寄贈したいと思っております。

また、この図書館ができる前に、かつてイトーヨーカドーの跡を図書館として利用できないかというようなお話があり、私も少々関わらせていただいたことがありましたが、図書館というのは蔵書している本の重さが半端ではないので、構造上特別なものでなくてはならず、ちょっとした建物では持たないということを知りました。それで既設のビルを利用してというわけにはいかなく、新図書館の建設に至ったというわけです。

また我々と図書館のかかわりは、皆さんご存じの通り、昨年2月、50周年の記念事業の一環として、50万円相当の電子書籍や児童書を図書館へ寄贈させていただいてもおります。後ほど、いろいろとお話もあると思いますが、わざわざ図書館まで来なくても、電子図書館を利用すれば、我々が贈った電子書籍もスマホやパソコンで閲覧することができますので、是非ご利用していただき、図書館がより皆さんに近い存在となっただけであればと思います。そんな思いで、社会奉仕の熊切委員長は図書館での移動例会をされたのだと思います。

石津館長を始めとする図書館の皆様、今日はよろしくお祈りします。

以上会長報告といたします。



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

会務報告

森 房明 幹事

①第6分区IM (Intercity Meeting)

開催のご案内

日時 3月18日(土)

午後0時30分 登録受付

場所 ホテル日航ノースランド帯広

13:00 開会式

13:30 ~ 16:50

講演・特別講演・閉会式

17:25 懇親会

講演:「ロータリー財団とロータリー活動にインパクトを」

細川 吉博 パストガバナー

特別講演:「ベネズエラと日本のつながり

-今しっておくべきこと-

ベネズエラボリバル共和国特命全権大使

石川 成幸 様

※尚、帯広RC、3月15日(水)の繰下げ例会と致します。

帯広西RC、3月16日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、3月17日(金)の繰下げ例会と致します。

帯広南RC、3月20日(月)の繰上げ例会と致します。

帯広東RC、3月21日(火)の繰上げ例会と致します。

②帯広南RC、3月13日(月)の例会は、休会と致します。

③帯広RC、3月29日(水)の例会は、休会と致します。

帯広西RC、3月30日(木)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、3月31日(金)の例会は、休会と致します。



一番目、第6分区IMのご案内ということで、既に何度かご紹介しておりますが、ホテル日航ノースランド帯広で開催されます。場所がいつもの北海道ホテルとは違いますので、お間違いのないようお願いいたします。

三番目、3月30日の例会は休会と致します。

続いて理事会で決定されました案件につきまして、皆様にご報告させていただきます。マスク着用の件ですが、3月13日からは政府の決定により、自己判断による着用ということになっていると思います。当クラブにおきましても、次回の集まりは18日はIMになりますので、その次の23日の例会は北海道ホテルで開催されますが、その例会から個人の判断で外したいという方がおられましたら外していただいても結構です。北海道ホテルとパーテーションについても確認しまして、パーテーションは外して実施させていただきたいと思っております。

23日の例会は、会員増強委員会に担当していただく例会で、新入会員卓話を予定しております。今日、梅田先生に参加いただいておりますが、梅田先生と更にもう一名新入会員の方がおられます。新入会員による卓話ですので、皆様是非ご参加よろしくようお願いいたします。

◆プログラム

熊切 宏樹 社会奉仕委員長



皆さんこんにちは。

今日は、社会奉仕委員会の第二回目の例会ということで、ここ帯広市図書館にて移動例会とさせていただきます。趣旨といたしましては、奥会長が今年度掲げた「リスタート」を受けて、昨年の50周年の記念事業において、電子書籍と一般書籍を贈呈させていただきました。その後の利用状況や効果を館長にご報告をいただき、皆で成果を確認できればと思っております。

コロナ禍において、北海道ホテルにお呼びしてご講演をいただくのが良いのか、図書館にお集まりいただき移動例会とするのか迷いましたが、私自身も図書館に来たことなかったこともあり、また同様のメンバーも多分いらっしやるのではないかと思います、この度図書館での開催といたしました。

皆さん揃っての見学は場所的に叶いませんが、講演後は自由に見学していただいて結構です。三か月後には新年度が始まりますので、次年度の委員長は事業計画の立案等にも是非図書館を利用していただければと思います。そんな思いもあわせて移動例会とさせていただきます。

講演後は自由解散になります。ここでは食事はできませんので、お弁当を用意しておりますのでお持ち帰り下さい。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

「ご講演」

帯広市図書館 館長 石津 邦久 様

ういった図書館を紹介させていただく機会をいただき、ありがとうございます。

簡単な形にはなりますけれども、図書館の取り組み等を紹介させていただきたいと思っております。どうぞ



帯広市図書館の館長の石津と申します。昨年、帯広西ロータリークラブ様には図書と電子書籍を寄贈いただきました。そういったご縁もあって今回こ

よろしくお願いします。

昨年、図書館の動画を作成しております、全体をイメージしていただくにはこちらを見ていただくのが良いと思い、まずは動画を上映します。その後で図書館の紹介をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いします。



まず概要になりますが、この図書館が現在地に移転したのは、平成18年3月3日、ちょうど17年。もう18年目に入っております。

蔵書数は約50万ということになっておりますが、現在は50万を超えている状況です。開館時間は火曜日から金曜日は午前10時から午後8時まで、土曜日、日曜日、祝日につきましては、午後6時までの開館ということになっております。休館日は月曜日、月末、年末年始となっております。利用できる方は管内に居住している方が利用可能です。図書は10冊、CD、DVD等は3点以内、2週間という貸出期間となっております。図書館は、皆さんは貸し出しだけのイメージがあると思いますが、それ以外の部分がございますので順にご説明させていただきます。

まず貸し出しの関係です。比較するのに令和2年、令和3年は、コロナの関係でかなり来館者数、貸出数も落ち込みましたので、その影響を受けなかった時の比較で平成30年との対比で解説させていただきます。来館者数で見ますと、平成30年が386,000人に対して、令和3年度23万、24万人で2/3程度と言うことで年間比較の方はこのような状況でございます。開館日数の方はやはりコロナの関係で、閉館、臨時休館した日が20日程度ありましたので、開館日数は減っております。実際の図書を貸し出された利用人数につきましても、平成30年の217,000に対して令和3年が143,000ということで、これもやはり2/3程度で落ち込んでおります。貸し出し量の部分は、893,000に対して令和3年度904,000とほぼ同じようになっていますが、実はこれは一つには、令和3年から電子図書館というものを始めまして、そちらの方で来館しなくても利用できるようになり、令和3年度で言いますと19万冊ぐらい利用がございました。そういった部分の余裕がありまして、貸し出しは目減りするようなことはなくご利用いただき、貸し出しができるようになったということになります。

一日あたりの来館者数にしても、利用者数についても貸し出し使用数については、電子図書館の関係で増えてはいますが、利用者の方はまだまだ回復していない状況でございます。

図書以外にも新聞も全国紙等を含めて22紙で、

その他に雑誌やマイクロフィルムをデジタル化した資料を用意しております。新聞の方もかなり古くからのものをデータベース化しております、こういった部分を検索することで色々と確認することができます。

これはPRになります、雑誌スポンサー制度というございます。雑誌コーナーを設営するために、雑誌を提供していただけるスポンサーを探しまして、その方に購入代金をご負担いただき、その代わりに広告を掲載して、企業や団体のPRをするという制度です。これを平成20年から始めております。具体的には雑誌のカバーに企業スポンサー名を表示するのと、ご提供いただいたチラシといったものを裏面に付けさせていただきます。実際にスポンサーというのは、選んだ雑誌の購入代金をご負担いただくような形で、現在9社団体から22誌購入いただいてスポンサーになっていただいている状況です。

先ほど動画を紹介させていただきました帯広図書館バスですが、こちらの方は市内62箇所と、農村部の小中学校といったところも回っております。その他に市内のコミセン、福祉センターの一部、こういったところにも図書を置いてご利用いただけるようにしております。

二つ目のサービスといたしまして、情報提供サービスがあります。例えば本を探したり、色々調べたいことがございましたら、二階にリファレンスサービスカウンターがございますので、こちらの方で色々な調べ物のお手伝いをさせていただきます。

地域の方に対しては、二階に上がってすぐのところビジネス推進講座ですとか、健康医療情報コーナーといったものを用意しております。一階には食文化コーナー、フードパレー関連等もございます。

幼児や保護者に対するサービスということで、定期的な「お話し会」の開催を実施しております。これは毎週土曜日または第二、第四の水曜日に開催しております。また毎月一回、子ども映画会をやっております。

児童青少年に対するサービスとして、家読（うちどく）の促進ということで、家庭でご家族と一緒に本を読んでもらおうと、冬休みを活用してこの取り組みを推進しております。また小中学校に朝読書に取り組んでいただくために、コンテナにクラス分の本を用意してお届けしております。二週間に一回もしくは一カ月に一回、本の入れ替えをするようにしております。また学童保育の方も貸し出しをしております。

高齢者対策サービスとしては、拡大読書器等を用意しております。

障害者向けのサービスとしては、視覚障害者の方にボランティア団体である図書館友の会の方が、週

一回、土曜日に対面朗読サービスという取組みを実施しております。また図書館への来館が難しい障害者の方には宅配サービスを実施しており、障害者のご家庭に本をお届けするような取組みも行っております。

多様な学習機会の提供ということで、図書館だけではなく、畜大、社会教育施設と連携しながら学習会や交礼会をさせていただいております。

ボランティア活動の促進ということでは、図書館は色々なボランティア団体の方に支えられており、先ほどの「お話し会」ですとか、例えば翻訳図書を作ってもらおうよう団体等に支えていただいて、図書館の運営が成り立っています。

平成3年4月から電子図書館ですとか、館内にWi-Fiを設置したことに合わせてタブレットコーナーも用意し、サービスを開始させていただいております。

電子図書館についてお話しすると、図書館の利用に際して一般の利用者カードというのは市内在住の方と市内に通勤学生の方に対して、カードの頭番号が019で始まる番号の方は電子書籍を利用することができます。ただ管内の方には図書の貸し出しはできませんが、電子書籍は今のところまだ使えない状況にしております。また電子書籍の取組みにおいては、帯広市の公式のLINEに、メニューの中に電子図書館という項目を作っております。こちらから電子図書館にリンクするような機能になっております。

またSNSによる情報発信ということも強化しております。平成2年の12月からツイッターを始めしております。この図書館が開館している間はほぼ毎日ツイッターの更新をして情報発信させていただいております。残念ながら未だフォロワー数が少ないので、是非皆さんも覗いていただければと思っております。

最後になりますが、今年の2月に電子書籍と紙の本を寄贈いただきました。その時に撮影した記念写真を紹介させていただきました。本当にありがとうございました。

未だ図書館を利用されていない方もいらっしゃると思いますが、今後は是非利用者カードを作ってください、仮に作らなくても閲覧は出来るので、色々な形でご利用いただければと思っております。簡単でございますが、以上で帯広市図書館の紹介とさせていただきます。ありがとうございました。



謝辞

奥 敏則 会長

本日は、石津館長をはじめとする図書館の皆様、誠にありがとうございました。

文化的で最低限の生活を送るということが我々の権利のひとつですが、図書館はその一翼を担っていただいていると思っております。立派な施設があっても我々が利用しないのであれば、単なる宝の持ち腐れと言うことでございますが、今年の50周年の折に私たちが寄贈したご縁のある図書館をもっと利用していかなければというふうに思っております。また、先ほどのご説明に雑誌スポンサー制度のお話もありましたが、我々もこの事業に少しでもお力になれるよう、次年度の方でも色々と考えていただければと思います。

あらためまして本日は誠にありがとうございました。

